

祝 創立100周年

横浜清風高等学校 新時代へ



Go to the Next Stage with us

横浜清風高校

100年の歩み

1923(大正12)年に横浜市南区大岡に横浜家政女学校として創立した現・横浜清風高校。明倫高等女学校、明倫高等学校と名前を改めながら戦前・戦中・戦後の時代を、仏教の教えに基づき婦徳の涵養を教育の柱として子女の教育を行ってきました。



創立・大岡校舎時代

1958年には保土ヶ谷区岩井町の現在地に移転。新たに竣工した円形校舎は保土ヶ谷駅に向かう車窓からも望むことができ、長らく同校のシンボルのひとつでした。当時を知る卒業生によれば、校舎の中央には螺旋階段があり、その外周部分が教室でした。教室の形に合わせて、机も扇形の長机だったそうです。

戦後から高度経済成長へと続く大きな時代の波に揉まれながらも、同校は仏教の教えを礎に生徒と共に20世紀を歩んできました。

21世紀を迎え、学校名を『横浜清風高等学校』に改めたのが2001年。以降も共学化を経

て、2012年には現校舎が完成。2017年にはグラウンドが人工芝化され、ここで練習に励んだ運動部員たちが全国の舞台で活躍することも増えてきました。



保土ヶ谷移転後の円形校舎



横浜清風高等学校 校長
植野 法稔

1923年4月26日、横浜大岡の地に横浜家政女学校として誕生した本校は、戦後保土ヶ谷の地に移り、100年の歴史を紡いできました。諸先輩方、卒業生の皆様が様々な課題を克服され、ここまで来られたことに大きな感謝を申し上げます。

本校は仏教精神に基づく「智慧」と「慈悲」を教育目標としています。自ら考え判断する力と、多様性を認め合いながら共栄していく力の育成。これらは、開校以来綿々と受け継がれ、今も大切に実践されている清風の教育の土台です。

横浜清風高等学校では、今年を次の100年への新たな出発の年ととらえ、本校の伝統を生かしながらも、新しい時代にふさわしい教育を目指して行きます。それは、自主自律の確立、自主学習力の向上、多様性への受容・共生力の向上などを育成していくことです。自らを信じて高め、未来に向かって邁進し、社会へ貢献できる人材の育成に努めてまいりたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

Go to the Next Stage with us

2023年、創立100周年。

横浜清風高等学校

〒240-0023 横浜市保土ヶ谷区岩井町447番地
TEL.045-731-4361 <https://www.y-seifu.ac.jp>

- JR横須賀線「保土ヶ谷駅」東口下車 徒歩約8分
- 京急線「井土ヶ谷駅」下車 徒歩約15分
- 相鉄線「天王町駅」下車 徒歩約20分

節目を祝い記念式典

生徒が日頃の成果など披露

横浜清風高校の創立100周年を祝う記念式典が9月29日に神奈川県民ホールで開かれ、生徒・教職員のほか保護者や関係者が参列した。バントワーリング部による華やかな「散華の舞」で始まった式典。あいさつに立った藤井義章理事長は「100周年スローガンの「Go to the Next Stage with us」を引き合いに「今こそ建学の精神を再認識し、次のステージへ繋いでいきましょう」と生徒たち呼びかけた。続いて「文武両道をめざし、部活動の応援にも使用してほしい」と記念品のマフラータオルが周年事業の実行委員会から



生徒活動発表の最後は参加者全員が曲に合わせてラインダンス



記念講演を行った原晋監督

代表生徒に贈呈された。

青字大原監督が講演

その後は青山学院大学陸上競技部長距離プロック監督の原晋氏が「なぜ青字大は駅伝強豪校へと成長したのか、覚悟と挑戦」のテーマで記念講演。チャレンジ精神の大切さを生徒に説いた。

最後は全員で校歌熟唱

最後は「生徒活動発表」として、運動部の生徒によるスピーチや、バントワーリング部やダンス部、フォークソング部、箏曲部、吹奏楽部らがパフォーマンスを披露した。生徒たちから大歓声が飛び出し、最後は生徒全員で校歌を熱唱し、式典を締めくくった。

創立100周年に寄せて

芙蓉会会長 安田 節子

(同窓会) (昭和41年度卒)



同窓生の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年、我が母校は創立100年の慶事を迎えました。旧明倫中学校・明倫高校を卒業し、その後は教員として母校に戻り40年間岩井町の丘で働いた私にとって、この学校はまさに青春そのものです。

芙蓉会の会員も今では2万5千人を超え、多くの方が社会で活躍されていることと思います。規律を重んじた女子高時代の伝統を継承しつつ、今では積極的に生徒主体の教育活動を推進しながら、充実した学びの場として歴史を刻んでおります。

100周年の一つの大切な節目として、次の100年に向けて未来永劫、学校が歴史を紡いでいくことを期待しております。同窓生の皆様におかれましては、健康で楽しい日々を今後も送られることを願うとともに、益々のご活躍を期待しております。

青春は学びと部活で できている

勉強も部活動も
100%の高校生活

タブレット端末を活用し、自主学習力アップ



グローバル教育も充実

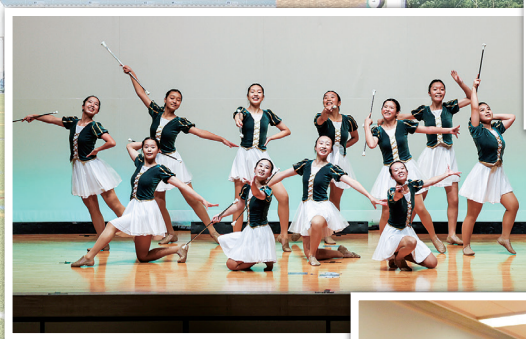


部活の経験が 自分を飛躍させる

県大会準優勝の男子バスケ部



全国大会出場の
バントワーリング部



様々な催しで活躍する箏曲部

前年度進学実績

- 横浜国立大学 1
- 長崎大学 1
- 富山県立大学 1
- 早稲田大学 6
- 慶應義塾大学 1
- 上智大学 1
- 学習院大学 2
- 明治大学 13
- 青山学院大学 5
- 立教大学 13
- 中央大学 7
- 法政大学 9
- 日東駒専 73
- 東海大学 23
- 神奈川大学 53

自主学習力を育てる 横浜清風メソッド



放課後、自習室で勉強に励む生徒たち

関東大会以上に 出場経験のある部活動

- 陸上競技部 女子バスケ部 男子バスケ部
- ソフトテニス部 硬式テニス部
- ソフトボール部 バントワーリング部
- バレーボール部 吹奏楽部 写真部
- インターアクトクラブ

～社会で活躍する卒業生たち～



川崎 友恵

(かわさきともえ)

卒業年度 2018年度

川崎市立看護短期大学
出身

現在の職業: 看護師

高校生活の中で楽しかったことは、2年生の沖縄修学旅行です。私自身初めて沖縄に行き、首里城などの歴史的文化財に触れ、班行動で美ら海水族館や国際通りなど観光地を巡りました。海がとてきれいで、体験学習のマリンスポーツはとて楽しかった印象が残っています。また日々の学校生活のなかで、放課後クラス内に残り友人と一緒に学習し、切磋琢磨したことも思い出です。

今は入職して2年目となり、公立病院の地域包括ケア病棟で看護師をしています。地域包括ケア病棟は病状が安定した患者に対しリハビリや、

自宅や施設退院のためのサービス調整などの支援を行っています。今後も継続して患者が退院後安心して地域で暮らしていけるように、入院中から退院後の支援を継続的にできるように看護を行っていきます。また、これからさらに学習を深め、専門看護師の資格等が取得できるようにしたいと考えています。



長谷川 舜樹

(はせがわみつき)

卒業年度 2015年度

信州大学大学院
修士修了

現在の職業: 石油会社

今後の目標は、日本で積んできた経験を活かして海外で働くことです。海外で原油や天然ガスの開発・生産を行い、日本のエネルギー安定供給に貢献できるエンジニアを目指しています。原油や天然ガスのエネルギーのみならず、再生可能エネルギーの事業拡大や2050年脱炭素社会の実現にも携わってまいります。

私の高校生の思い出は、部活と受験勉強です。部活は陸上競技部に所属し、練習と大会に出場したのが印象に残っています。部活を引退したあとは、受験勉強のために教室でクラスメイトたちと勉強したことも思い出深いです。放課後や夏休みにも教室に残り、分からない問題を教え合いながら勉強していました。

現在の仕事は、エンジニアとして日本の地下から産出される原油・天然ガスの回収率向上を目指す業務を全うしています。また、産出された原油・天然ガスの安定供給を行い、お客様のもとへ販売しています。

令和6年度入試 学校説明会日程

学校説明会

[午前] 10:00~11:15 [午後] 13:30~14:45

11/11(土) 午前・午後

11/25(土) 午前・午後

12/2(土) 午後

夜間相談会

11/17(金)

17:30~19:00

- ホームページからの事前予約が必要です
- 車での来校はご遠慮ください

